

ニュースレター No.83

会長挨拶

一般社団法人 福岡県助産師会 会長 佐藤 香代

真夏の暑さが収まらない中、秋を感じる間もなくあっという間に冬の訪れが。。もって秋を感じたかったというのが本音です。だんだん春秋が短くなり、日本の四季がなくなる感じで寂しいですね。

7月30日に行われた医療功労賞中央表彰祝賀会は参加者の笑顔・笑顔で滞りなく終了しました。おかげさまで日本各地（なんと、アメリカからも！）から参加者が集い、大いに盛り上がりました。参加者には福岡県助産師会の活動を知っていただけたと思います。会員の皆さまからはたくさんの支援をいただきました。ここに感謝申し上げますとともに、これからも会発展のため力を尽くす所存です。今後ともよろしく願いいたします。



さて、こども家庭庁の令和6年度の母子保健対策関係予算要求の概要が示されました。すべてのこどもが健やかに育つ社会の実現を目指し、成育基本法や母子保健にかかる様々な取組を推進する国民運動である「健やか親子21」等を基盤とし、地域における妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援等を推進するとなっており、184億7900万円+事項要求が提出されました。その中には、産後ケア事業の実施体制強化、プレコンセプションケアを含む性や妊娠に関する正しい知識の普及や性と健康の相談支援、妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク体制の構築、新生児聴覚検査の体制整備事業、不妊症・不育症に関する支援等が含まれています。福岡県助産師会はこれらの推進に出来るべく準備を行っています。産後ケア事業は年を追うごとに拡大の一途をたどっており、助産師会にとって大きな事業となっています。今後も妊娠・出産包括支援委員会を中心に実施体制強化に努めていきます。不妊症・不育症に関する支援においては、昨年福岡県は厚生労働省委託の「不妊症・不育症ピアサポーター等の養成研修」を受託し、研修事業を行いました。またプレコンセプションケアを含む性や妊娠に関する正しい知識の普及や相談支援においては、地域で包括的性教育を担うことができる人材育成のため、11月から包括的性教育事業プロジェクトを発足させます。研修制度を立ち上げ知識と実践の仕組みづくりを行い、地域の要請に応じていきます。さらに、妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク体制の構築においても助産師会も関与していく必要があるため、関係機関と協議を重ねていきます。

11月25-27日の3日間、アクロス福岡で第3回Dignity国際カンファレンスが行われます。人間の尊厳と教育について考え、のべ3500名が集う予定です（オンライン参加も有）。福岡県助産師会は登壇の機会を与您いただき、11月26日（日）9時～11時30分、子育て中の女性たちと私のトークショーを行います。主に妊娠・出産・育児中の女性の尊厳について話したいと思っています。100名以上のお母さまたちが会場に来られる予定です。会員の皆さまの参加をお待ちしています。学生は無料です。助産師学生や看護学生にもぜひお勧め下さい。Dignity2.0 国際カンファレンス <https://www.dignity2.org/2023/>

今年5月に発足した会館整備ワーキンググループは、運営チームとレイアウトチームに分かれ活動しています。毎月会議を持ち、具体的な運用方法や会館の活用を考え、いつ建て替えが決定しても対処できるよう着々と準備を進めています。9月28日、鹿児島県助産師会 鹿児島中央助産院 いのち未来館を、10月23日には沖縄県助産師会・母子未来センターを視察しました。どちらも助産師会立の助産院を持ち、分娩介助を行い、たくさんの事業に関わっており、刺激を受けて帰ってきました。

20年議論されながら解決に至らなかった新会館建設が、昨年の総会（2022年5月21日）で決議されてから1年半経ちました。その間、新会館の意義を訴え何度も交渉を行いました。福岡不動産からは2023年10月末、モデルハウス撤去には応じられない旨の最終の返事が届きました。現在助産師会は、熊本地震の後、耐震基準を満たしていない現助産師会館での事業は安全でないと判断し、月に2日（午後）、福岡市委託のプレママパクラスをモデルハウスで行っていますが、あとは何も活用できていません。今さらながら、助産師会にとってどのような意味があると考えモデルハウスを建てられたのか疑問に思います。母親や子どもたちの笑顔に包まれた場所、助産の原点を護りぬく場所、助産師たちがイキイキと働き、学生が生きた実践を学ぶ場所、この福岡の地に一刻も早く助産師会館を建て母子の幸福に貢献したい！この夢が叶うのはいつになるのでしょうか？「風が一番高く揚がるのは風に向かっていているとき」。決して屈せず前を向いて進んでいきましょう。

委員会活動 報告

災害対策委員長 木下 広江

今年度より、九州・沖縄地区災害対策委員会が発足しました。LINE グループを作成し、情報共有や会議を行っています。豪雨や台風等の災害発生時の安否確認や、各県での災害に対する取り組みの状況などについて頻りに情報交換を行っています。九州・沖縄地区で大規模災害が発生した場合、支援県が決まっております（福岡県で災害発生し支援が必要な場合には 佐賀県が第一支援県、福岡県は大分県への第一支援県となっています）。今後も定期的な会議を実施し、より実践的な対策ができる様に活動していきます。会員の皆様 日本助産師会の災害時ボランティアの登録に、ご協力をお願いします。

9月9日 災害対策委員会で、防災グッズについての勉強会を行いました。午後からは、助産師会館で理事会前に避難訓練を実施。多発する豪雨や台風、地震などによる突然の大規模災害に備えて、日ごろからの訓練や準備が必要だと感じます。12月8日には、安否確認訓練を予定しています。会員の皆様の安全と各地域の被害状況確認を、より簡略化し、正確にできる方法についても検討中です。

また、災害時でも 簡単に活用して頂けるように、ホームページを活用した災害時マニュアルの作成中で、年度内のアップロードに向けて準備を進めています。

会員の皆様も、ご家庭や職場、地域での 日ごろからの防災に対するご準備をお願い致します。

安全対策委員長／助産所部会長 田嶋 昌枝

会員の皆様方におかれましては地域での母子支援事業など日々ご尽力頂いていると存じます。

今年度、安全対策委員会より近日中に【産後ケア受託者の意識調査】を会員の皆様に回答依頼の予定です。お忙しい所大変恐縮でございますが産後ケアの現状と契約改善のため、どうぞご協力をお願い致します。

令和5年10月1日からインボイス制度がスタート致しました。そこで3部会合同研修会として令和5年11月25日「助産師が学ぶインボイス制度について」と題しまして加藤田税理士より制度の趣旨や注意点など助産師に分かりやすく解説して頂きます。また研修会終了後には3部会交流会も予定しております。一人でも多くのご参加宜しくお願い致します。

今後も助産師会員の皆様の活動を安全対策委員会として支援して参る所存でございます。委員会に対してご意見・ご要望などお聞かせ頂いたら幸いです。今後とも宜しくお願い致します。

産後ケア事業の現況～委員長として思うこと～

妊娠・出産包括支援委員長 豊田 晴子

先日、産後ケア事業実施施設に対して「産後ケア事業の体制整備に関する調査研究」の調査協力依頼がありました。調査項目の一つに常勤・非常勤の医師の人数及び時間数を記入する項目もありました。医師との連携は必要です。しかし、産後ケア事業の目的を国はどの様に考えての調査項目だったのか疑問に思いました。「産後ケア事業の本来の目的は何なのか？」

産後の方は流産・死産に関わらず全て心身の養生が必要です。まずは、産後ゆっくり休み、子育てのスキルを身につけることが産後うつや虐待防止にも繋がります。

赤ちゃんと全く関わったことのない女性も多い中、女性だからいきなり母親になれるわけではありません。子どもを取り巻く家族や社会との関わりの中で、母親としてのアイデンティティが確立する様に思います。

現在、伴走支援は、アンケート調査とお金を支払われている自治体も多いと思いますが、産後ケアプラス伴走支援、産後サポートへと体制作りが出来れば1歳までの子育てで不安を抱く母親も減少するのではないかと思います。

福岡市マタニティスクール 報告

マタニティスクール運営責任者 福澤 雪子

福岡市委託事業「働くママとパパのマタニティスクール」は、コロナ感染症分類が5類に移行した5月より参加者数を1日8組16名に戻しました。この機会を利用して、洗面所やお風呂場、台所の流し、食卓など多様な沐浴場所を設け、希望に沿ってリアルな体験ができるように工夫して取り組んでいます。

運営を熟知したベテランの方々に引き続きご協力いただく中で、10月から新しいメンバーの方々にスタッフとして加わって頂くことになり、頼もしい限りです。会員の皆様方のお力添えを頂きながら、今後も運営して参りたいと思います。



佐藤会長医療功労賞中央表彰受賞祝賀会が開催されました

実行委員 吉田 静

今春、佐藤香代会長が受賞されました「医療功労賞中央表彰」受賞祝賀会を7月30日、オリエンタルホテル福岡 博多ステーションにて開催いたしました。当日は170名を超える多くの方にご出席賜りました。ホテルは福岡で開催されていた世界水泳選手権の選手や家族も多く利用されており、ご出席者の晴れやかな和装、洋装を笑顔で楽しませていました。

会でのたくさんのご祝辞やメッセージを拝聴し、佐藤会長の人望の厚さ、福岡県助産師会だけでなく幅広く助産師と後輩育成のためにご尽力いただいていることを痛感いたしました。また佐藤会長が長きにわたって携わってこられた助産師教育の卒業生皆さまによる余興にて佐藤会長の知られざる教員時代のお話もお伺いすることができ、笑いにあふれた暖かい時間となりました。理事の皆さまには祝賀会開催にあたりましてご多忙の中、今春の準備から当日終了まで長きにわたって大変お世話になりました。皆さまのお力添えで無事に終了することができました。今後ともどうぞよろしくお願いします。



地区活動を紹介します！

宗像地区理事 永松 美雪

『孫育て講座』の開催

宗像地区では、7月22日に孫育て講座を日本赤十字九州国際看護大学の実習室で実施しました。目的はおじいちゃん、おばあちゃんになられる方々へ、赤ちゃんを迎えるに当たっての心構えや育児手技を学んでもらうことです。事前アンケートより知りたいこととして、子育ての方法で以前と違うこと、沐浴からお風呂に親と一緒に入浴する切り替えのタイミング、抱き癖をつけてはいけないと思いますがスキンシップも大切だと思うので、その兼ね合いなどが挙げられました。

講座内容は子育ての今と昔の違いの講話、アレルギーを予防する沐浴や皮膚の保護の仕方の実演、沐浴練習、赤ちゃんの抱き方、おむつ・衣服着脱などの練習です。講演後のアンケートに参加者全員が「役に立った」と回答しました。また、感想として「今の子育てに沿う、とても参考になる内容でした。」「実際に沐浴を体験させていただいて、とても勉強になりました。」という感想があり、好評を得ました。妊娠している娘さんと一緒に参加した方は親子で育児についての会話をを行う機会になっていましたので、11月25日の開催は、娘さんと参加できるように案内しました。

筑後地区理事 田中 輝美

『とみたえりに助産師お話し会』開催 ～安産の決め手はやわらかくあたたかく～

筑後地区は県の南端で、大川市、柳川市、みやま市、大牟田市が含まれます。今年度は6月24日に、フィリピンで活動している助産師富田江里子さんを迎えて研修会を開催しました。日本に居ては分からない医療事情、日本の常識は世界の非常識?、世界中どこでもお産と育児に大切なことを教えていただきました。キーワードは「やわらかくあたたかく」です。研修会では、二人組になり①起立し前屈、柔軟性を確認し、②姿勢を整え相手が頭をなでなでしながら「いい子ねー」「ありがとうー」とぼかぼかことばの声かけ30秒。③もう一度前屈すると最初より身体がやわらかくなっている不思議を体験しました。



富田さんは二十数年間マニラ近郊で貧しい人たちのための無料助産所を開設。ビザの切替え帰国時に、支援者に活動報告をされています。今回も数万円の募金をお渡すことが出来ました。このような形で私たちも世界の母子支援活動に協力できることを喜んでいます。



令和5年度 オンデマンド研修会 動画配信中！

令和5年度の当会主催オンデマンド研修会には7つのテーマが準備され、すでに10月1日より動画配信がスタートしています。配信期間は2月29日までです。ぜひ自己研鑽にお役立てください。

研修会テーマ	内容	講師	産後ケア	選択研修	必須研修	研修時間数
助産哲学とウィメンズヘルス	ウィメンズヘルスクエア提供のための助産師としての基礎能力ガイドラインの考え方	福岡県助産師会会長 佐藤香代	①	○		2☆
乳児のフィジカルアセスメント	乳児のフィジカルアセスメント	久留米大学病院 総合母子周産期医療センター 木下 正啓	③		●	2☆
乳児の成長・発達と運動能力（仮）	乳児の成長・発達に関する診断と技術	「ままこや」代表 山野井えみ	⑤			2☆
母乳育児を続けるために助産師にできること～勤務助産師と開業助産師が手を取り合うということ～	産後の母乳育児支援	「みかた」mama's care 宮尾 久美子	⑥	○		2☆
産後ケアの現状と課題	母子保健事業・施策	産前産後サポートセンター 心ゆるり 豊田 晴子	⑦			2☆
産後ケアに役立つ知識～妊娠中から産後における筋骨格系の変化とマイナートラブル～	産後の母親のフィジカルアセスメント	ブルームカイロプラクティック 山口康太	②	○		2☆
ママとパパの周産期メンタルヘルス	女性のメンタルヘルスとその対応	不知火クリニック 慶應義塾大学医学部 特任助教 黒川駿哉	⑨			2☆

《対象者》 助産師（福岡県内外会員・非会員）、看護職、学生

《開催方法》 オンデマンド研修会

《時間》 2時間（120分）

《配信期間》 2023年10月1日（日）～2024年2月29日（木）

《参加費》 助産師会会員2,000円 非会員5,000円 学生1,000円（助産師免許保持者は除く）

《申込期間》 2023年9月1日（金）～2024年1月31日（水）

※詳細については、福岡県助産師会ホームページ【研修イベント情報】をご参照ください。

水と、空気と、睡眠と。



世界に誇れる羽毛ブランド HARUO DOWN

いい羽毛からしか、いい羽毛ふとんは生まれません。



無料 睡眠セミナー

東洋羽毛では「睡眠健康指士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい寝姿を得て睡眠負債を解消し、イキイキと健康的な毎日を過ごすお手伝いをさせていただきます。

今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです。睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

<お役に立てる主な研修>

- ★ 医療安全対策研修 睡眠不足とヒューマンエラーの関係や、交差勤務における睡眠のリスクなど
- ★ メンタルヘルス研修 労働者におけるストレスと睡眠の関係
- ★ 学校保健委員会 「学力」「部活動」「スマホ・ゲーム」と睡眠の関係
- ★ 高齢者の睡眠ケア 高齢者の睡眠マネジメントや、これだけは死守してほしい生活習慣

※オンラインセミナーも承ります。
※1人参加可能な研修もあります。詳細はお問い合わせください。
※(一社)日本睡眠研究会認定の睡眠健康指士です。



東洋羽毛九州販売株式会社 福岡営業所
〒812-0062 福岡県福岡市東区松島1-15-28 ☎0120-104-557

ママと赤ちゃんのコンビニエンス

産科用品の自動販売機

院内サービスショップとして
24時間いつでも利用いただけます。

GLORY
光熱消費機 AE-20V

- 1台で90品目販売、豊富な品揃えができます。
- 販売価格は5,000円まで。もちろん、千円紙幣も使えます。
- 売上集計もワンタッチで、ジャーナル印字も使えます。

陳列コラムを
回転させながら
商品が
選べます



投入金額以内の
陳列コラムの扉を
1つだけ開けて商品
を取り出せます



外形寸法: (W×D×H)
800×685×1830mm・質量150kg

企画・発売元
SEBE セベ産科用品株式会社
〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4丁目11-11 TEL (092)472-4316

産褥社 (胎盤処理)

〒811-1313

福岡県福岡市南区日佐3丁目
34-16

TEL : 092-581-6588

代表 : 村上 士朗



ホームページ会員登録のお願い

会員登録がお済みでない会員の方は、登録をお願いいたします！

登録手順は、福岡県助産師会ホームページ⇒助産師の方へ⇒会員登録について⇒会員登録フォームに必須事項の入力となります。これまで、日本助産師会事務局から福岡県助産師会会員への情報提供は、地区理事や各部長を通して伝達されていましたが、2022年9月より福岡県助産師会ホームページ内「会員ページ」に掲載することになりました（至急事案を除く）。会員ページにログインすると、観覧制限をしているページを見ることができます。ぜひ会員登録をお願いいたします。

会員募集

一般社団法人 福岡県助産師会では、会員を募集しております！！

ご友人や職場の方をお誘いし、一緒に活動してみませんか？

入会をご希望される方は、下記 QR コードより福岡県助産師会ホームページにアクセスし、助産師の方へ⇒入会案内のページにお入りください。または、下記担当者への連絡をお願いいたします。



【福岡県助産師会 会計 山口美津枝】

住所：〒807-1134

北九州市八幡西区茶屋の原 4 丁目 1-12

電話：090-9607-3331

メールアドレス：3enyanko@gmail.com

おひとりでも多くの皆様の入会を心よりお待ちしております



【編集後記】

今年度 2 回目のニュースレターをお届けします。暑い夏が終わり、寒暖差に秋の深まりを感じますが、今年も残り 2 か月とは早いものです。皆様、くれぐれもご自愛ください。

広報・渉外委員 後藤・村尾・安河内・原武・阿部

一般社団法人 福岡県助産師会 ニュースレター 第 83 号 2023 年 11 月
発行人 一般社団法人 福岡県助産師会 会長 佐藤 香代

〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾 1-3-41
電話・FAX 092-521-2025 <https://jyosanshi.net>

